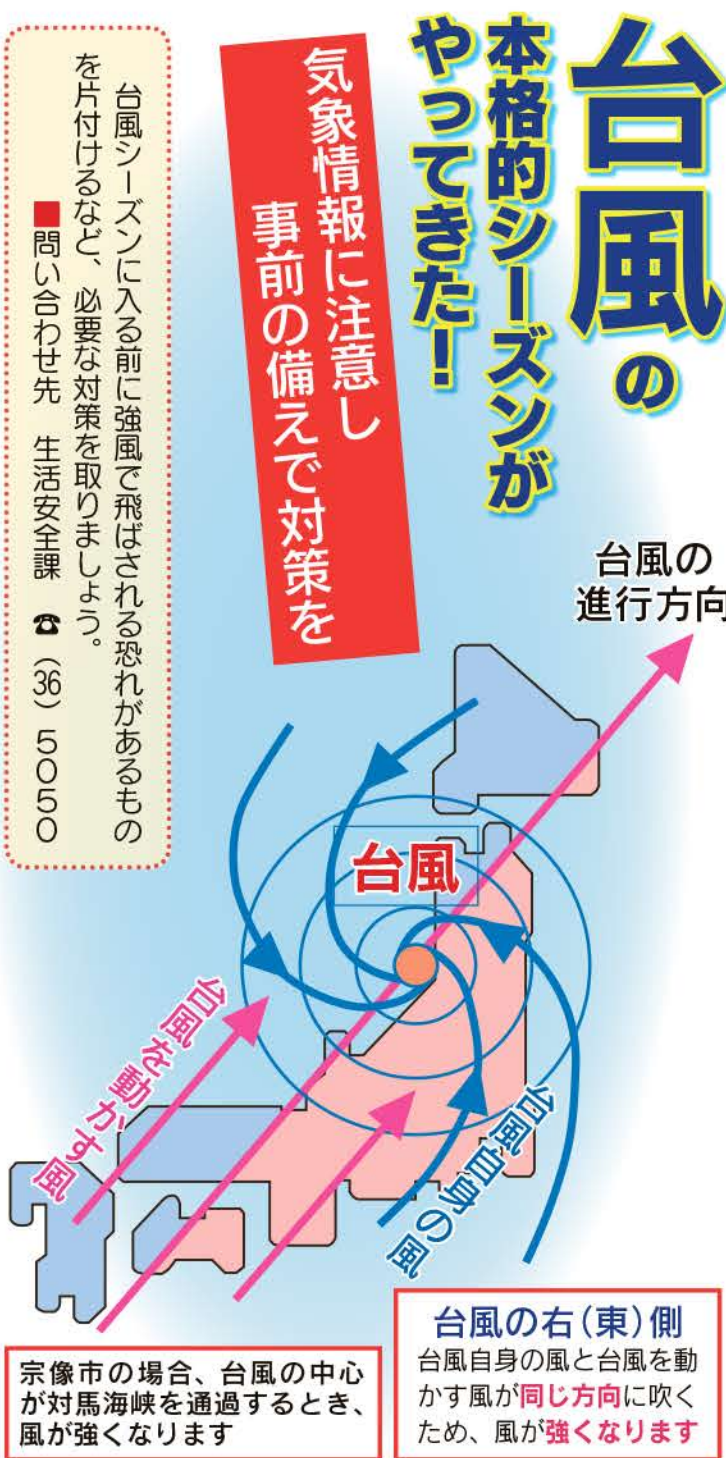


台風の本格的シーズンがやってきた!

本格的なシーズンがやってきた!

気象情報に注意し 事前の備えで対策を



台風が来てしまってからでは遅い! 事前の備えが大切です

屋根

▽瓦にひび割れやズレがある、強風で吹き飛ばされ、雨漏りの原因になります。壊れたら、ズレたりしている瓦は、取り換えや修理をしましょう

▽トタンに「めくれ」や「はがれ」があると、強風にあおられて飛ぶなど、他に被害を与える可能性もあります。事前に釘などで応急措置をしましょう。釘の頭の周りにペンキを塗ると、水の染み込みを防ぐことができます

▽テレビアンテナがしつ

雨どい・雨戸・窓

▽しっかりと鍵をかけたまじょう。外から板を打ち付けるのも効果があります

▽外からの飛来物の飛び込みに備えて、カーテンやブラインドを下ろしましょう

▽雨戸や格子のない窓ガラスは、強風の飛散物で割れないように粘着テープなどで補強しましょう

▽雨どいに、落ち葉や土

外壁

▽モルタルの壁に亀裂、板壁に腐れや浮きがあ



砂が詰まっていれば取り除き、事前に水はけを良くしておきましょう。雨どいの受け金具がゆるんでいたら、元の位置にしっかりと固定しましょう

▽雨戸に「がたつき」や「ゆるみ」があれば修理しましょう

片付け

▽鉢植えや物干しざおな



▽落ち葉や土砂などを取り除き、水はけを良くしましょう

排水溝・ます

る場合は修理しましょう

▽プロパンガスのボンベが、しっかりと固定されているか確認しまし

ブロック塀

▽ひび割れや破損箇所がある場合は修理する

浸水対策

▽家財や家電など低い所に置いていたものは、高い所へ移動しまし

ライフライン・避難

▽停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオなどを準

9月1日は「防災の日」大震災の教訓を忘れない

大正12年(1923年)同日に、関東大震災が起きました。また、台風の多い時期であることから、昭和35年に防災の日が制定されました。台風や地震などの災害について認識を深め、日頃の備えについて確認する日ともいえます。

災害に備えて

●家庭での防災会議

災害はいつ起こるか分かりません。家族が慌てず行動できるよう、日頃から話し合い、情報を共有しておきましょう。

- 家族との連絡方法の確認
- 自宅の脱出ルートを考える
- 避難路を確認する
- 防災活動への参加
- 非常持出品を準備する
- 火災を防ぐ

- ▽火災に備える
- ▽電気・ガス・石油機器の出火を防ぐ



気象情報に注意! 避難情報を入力

避難勧告・指示は、市緊急情報伝達システム、エリアメール、宗像市防災ホームページ、広報車などで情報を提供します。

- ▽断水に備え飲料水を、浴槽に水を張るなどしてトイレなどの生活用水を確保しましょう
- ▽避難に備え、貴重品などの非常持出品を準備しましょう
- ▽むやみに外出せず、外出時は早めに帰宅しましょう
- ▽テレビやラジオ、インターネットなどの気象



*災害時に備えておく便利な物の一覧を、市広報紙4月15日号と一緒に配布した「宗像防災マップ」の裏表紙で確認できます

台風時これは危険!

【海岸近くは「高潮」に注意】台風が日本によく接近する8月から9月までは、平均潮位が1年のうちでもっとも高い時期です。この時期に大潮の満潮時と台風の接近が重なると、高潮による浸水の可能性が高くなります。波打ち際や防波堤など、海岸の見回りは絶対にやめましょう。

【台風の接近時や通過直後の作業は危険】強風が吹き始めてから台風対策をし、屋根などから落ちて、けがをするなどの事故が発生して

ます。強風時、外での作業はとても危険です。強風時に屋根などに上らないで済むように、事前の準備をしておきましょう。今まで吹いていた強風が弱まっても、急に吹き返しの強風が吹くことがあります。風が弱まったからといって、屋根に上ったり、不用意な外出をしたりするのは控えましょう。

